

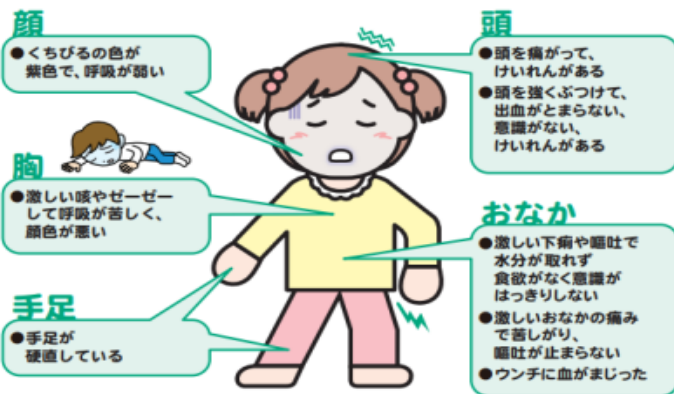


大塚先生より

寒くなってきて、熱や咳の患者さんは増えてきましたが、今年はコロナ対策で手洗い・消毒が徹底しているので皆、そうひどくありません。今回は救急車を呼んでほしい症状が救急車利用マニュアル（総務省消防庁）にあったので紹介します。

ためらわず救急車を呼んでほしい症状：小児（15歳未満）

**こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！
重大な病気の可能性ががあります。**



意識の障害

- 意識がない（返事がない）
又はおかしい（もうろうとしている）



じんましん

- 虫に刺されて、全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった

やけど

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど

生まれて3か月未満の乳児

- 乳児の様子がおかしい



飲み込み

- 変なものを飲み込んで、意識がない

事故

- 交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
- 水におぼれている
- 高所から転落



◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

参考 https://www.fdma.go.jp/publication/portal/items/portal002_japanese.pdf

病児保育室はっぴいの利用状況は下記の通りです

（受入れ人数一日3人）2020/10/01～2020/10/31

	0～1	2～3	4～6	学童	合計
能代市	16	8	1	0	25
山本郡	4	3	0	0	7
その他	0	0	0	0	0
合計	20	11	1	0	32

小児科外来より

寒い季節になりました。小児科外来では喘息症状で受診する子どもが多かったです。

インフルエンザの予防接種が始まりました。体調が良い時の接種をおすすめします。感染予防対策は引き続き行いましょう。

インフルエンザ予防接種のおしらせ

当院では10月より、インフルエンザワクチン接種を行っております。小児科のみ事前の予約が必要です。

（予約受付時間は9時から15時30分までとなっております）

【料金】

小児 2,700円×2回（13歳以下）

成人 3,200円×1回



※地域により、助成金の金額や対象年齢が異なります。窓口でお支払いになる場合は、上記金額と異なる場合があります。

「子どもの発熱」

子どもが急に熱を出すことはよくありますが、そのまま様子を見ていていいのか、受診したほうがいいのか、判断に迷うことは誰しも経験していることと思います。場合によっては仕事を休まなければならない、お父さんやお母さんの悩みや不安の一つになっているかと思えます。子どもの発熱の多くの場合は急を要するものではありません。まずは様子を見ながら自宅でケアできることが多いです。

子どもが熱を出す原因はウイルスや細菌などの病原菌が体内に侵入したことによるもので、熱は体が病原菌と闘っている証拠です。生後しばらくはお母さんからもらった免疫で体を守っていますが、6ヶ月頃からその免疫が少なくなり自分で免疫を作ようになるため、この頃から発熱が多くなります。また、体内で作られるエネルギー量が多いため体温も高めで37.5度を超えることも多いです。大きくなると発熱の頻度も少なくなってきますので、心配しすぎないようにしましょう。

病児保育専門士（看護師） 大山



独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）秋田病院

病児保育室はっぴい

〒016-0851 秋田県能代市緑町5-22 3階ナースステーション隣り

TEL（代表）0185-52-3271（予約・問い合わせ）090-8924-4253

アドレス happy@akita.jcho.go.jp ※メールでの予約対応はいたしません